

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No. N-45)
「女子大生の靴」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「女子大生の靴」について写真観察を行いました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通して、多くの学生は落ち着いた色の靴を履いていることが分かった。特にモノトーンが多く、黒が一番人気である。種類別に見ると、動きやすいスニーカーを履いている学生が多かった。またコーディネートを見ると、パンツスタイルの学生が多いことが分かった。

調査結果のポイント

(1) 黒や白など、落ち着いた色が人気

最も多くの学生が「黒」の靴を履いていて、次に多かったのは「白」という結果となった。その次に、「グレー」や「紺」が続く。派手な色やパステルカラーの靴や、柄の入った靴を履いている学生は少なく、落ち着いた色を選ぶ学生が多かった。また靴紐のある靴を見ると、靴同様に黒や白など、落ち着いた色が多く見られた。

(2) スニーカーを履く学生が多い

靴の種類で分類したところ、スニーカーを履いていた学生が約半数を占めた。大学は渋谷駅から徒歩10分の立地ではあるが、動きやすいスニーカーが人気である。スニーカーの中ではコンバースが最も多く、次に多かったスポーツブランドではニューバランスやナイキが人気であった。種類別で次に多かったのはサンダルで、これはよく晴れた6月下旬を中心に、調査を行ったことが影響していると考えられる。

(3) ヒールの低い靴を履いている

スニーカーを履く割合の高さからも伺えるが、ヒールが全くないぺたんこ型、もしくはヒール3cm以下の靴を履いている学生が多かった。歩きやすさや、楽な履き心地を重視していると考えられる。

(4) パンツスタイルが多い

靴の写真観察を行っていたが、長ズボンが写真と一緒に写っていたため、パンツスタイルが多いことが分かった。特にジーンズが多く見られた。また、スニーカーの人はパンツスタイルの割合が高かった。

(5) あえて靴下を見せる履き方

黒い靴に白のレース靴下や、黒のサンダルに赤い靴下など、あえて靴下を見せる履き方をしていた。黒の靴に白ベースの靴下という組み合わせが、最も多く見られた。

調査概要

- 調査対象：実践女子大学生 1～4 年生、102 人
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- 調査期間：2017 年 6 月 2 日～6 月 23 日
- 調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス
- 回答者の属性：実践女子大学生 1～4 年 100%
- 調査目的：実践女子大学生の靴のトレンドを見るため、靴の全体および服装について調査を行った。
- 調査主体および本調査担当：実践「ペルソナ」研究会
 - 調査員：岩佐英里奈、海辺美葉、安結実

調査結果

靴の種類別に写真資料をあげると、以下のとおりである。

【スニーカー】



【ヒールありパンプス】



【ヒールなしパンプス】



【ローファー】



【サンダル】





今回の写真観察調査の結果、写真の枚数を調整しているため、ここにあげている枚数と比例しないが全体的にスニーカーを履いていた学生が多かった。このことは大学の立地に関係しているとも考えられる。動きやすいスニーカーを選び、これらはメーカーでもコンバースなどで、その他、スポーツブランドではニューバランスやナイキが人気であった。次にサンダルなども多く、このことは6月という調査時期にも関係したとも考えられる。また全体として写真から分かるように、あまり派手な色やパステルカラーではなく、黒や白、またグレーなど落ち着いた色を選ぶ学生が多かった。靴紐でも色を変える人もいるが、今回の対象者ではその傾向は見られなかった。スニーカーやサンダルのように動きやすさを重要することからかヒールが全くないぺたんこ型、もしくはヒール3cm以下の靴を履いている学生が多かった。歩きやすさや、楽な履き心地を重視していると考えられる。

また撮影時の状況からも、当日は長ズボンが写真と一緒に写っていたため、パンツスタイルが多いことが分かった。特にジーンズが多く見られた。また、スニーカーの人はパンツスタイルの割合が高かった。今回の写真資料では残していないが、これらは全体的な服装のバランスを取っているように感じた。さらに黒い靴に白のレース靴下や、黒のサンダルに赤い靴下など、あえて靴下を見せる履き方をしている人もいた。なお黒の靴に白ベースの靴下という組み合わせが、最も多く見られた。今回は写真観察から検証を行ったため、実態はわからないが、サンダルは2~3,000円、スニーカーは5~6,000円が相場と考えられることや、ブランド志向の人は10,000円近い靴を買うと聞くと、今回はそのような人はあまり見られなかったことから、高くても約5,000円前後がボリュームゾーンと予想される。

これらのことから、実践女子大生の靴選びでは「動きやすさ」、「落ち着いた色」を重視し「ややお手頃価格 (5,000円前後)」を選ぶと思われる。これは大学で目立つための靴ではなく、そのままバイトやサークルに行きやすいような靴を選んでいるとも考えられる。

今回、撮影のみ行ったことから、今回の靴が普段の靴なのか、また「特別な日」や「友達と遊びに行くとき」などイベントでは、どのような靴に変えているのか。また普段履きまわしている靴の数や、毎朝の靴選びの時間などの情報もあれば、今の女子大生が期待する靴をよりイメージ化できるのではと思われる。